

ホットジャケットリムーバ

JR-7S

取扱説明書



- ・ご使用前に本取扱説明書をよくお読みください。
- ・本取扱説明書は、本製品のお手元においてお使いください。

 住友電気工業株式会社

安全にお使いいただくために

当社製品は安全を十分考慮して設計されています。しかし間違った使い方をすると、火災や感電などにより、人身事故につながる場合があります。事故を防ぎ安全にお使いいただくために次のことを必ずお守りください。

◆警告表示の意味

本製品およびこの説明書では次のような表示をしています。表示内容を良く理解してから本文をお読みください。

＜図記号の意味について＞

	この記号は注意(危険、警告を含む)を表します。製品に表示されている場合、取扱説明書に、一般的な注意、危険、警告の説明が記載されていることを表します。
	この記号は禁止(してはいけないこと)を表します。
	この記号は行動の強制あるいは指示(しなければならぬこと)を表します。

＜警告と注意の意味について＞

	この警告を守らないと、火災や感電などにより死亡や大ケガなどの重大な事故につながることがあります。
	この注意を守らないと、感電やその他の事故によりケガをしたり、本製品の本来の性能を発揮できなくなることがあります。

必ず、以下の警告・注意事項をお読みになってからご使用ください。



＜設置、ご使用について＞

	1. 本製品は JIS C 0920 の防滴 I 型 IPX2 に対応した設計となっておりますが、故意に水の中に入れたり、濡らしたりしないでください。火災、感電、故障の原因となります。 2. 万一、内部に水が入った場合は、電源を OFF にし、バッテリーもしくは AC アダプタを抜いてご使用を中止して弊社サービス部門にご連絡ください。 3. 万一、発煙、異臭、異常音、異常な発熱などが発生したら、ただちにご使用を中止し、弊社サービス部門にご連絡ください。 4. ご使用中はヒータ面に触れないでください。ヒータ面およびその周辺は大変熱くなっているため、素手で触れると火傷をする恐れがあります。 5. 本製品の分解/改造をしないでください。火災、感電、故障の原因になります。
---	--



6 除去刃の先端は鋭利になっておりますので直接手などで触れないでください。

＜バッテリーユニットの取扱について＞



1. バッテリーを分解したり、改造しないでください。バッテリーには、危険を防止するため安全機構や保護装置が組み込まれています。これらを損なうと、バッテリーが発熱、発煙、破裂、発火する原因となります。
2. (+)と(-)を針金などの金属で接続しないでください。また金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。バッテリーがショート状態となり、過大な電流が流れ、発熱、発煙、破裂、発火したり、あるいは金属が発熱する原因となります。
3. バッテリーを火の中に投入したり、加熱しないでください。絶縁物が溶けたり、安全機構を破損したり、電解液に引火して、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。
4. バッテリーを火気(ストーブ等)に近づけたり、高温下での使用及び放置をしないでください。発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。
5. バッテリーを水や海水などにつけたり、濡らさないでください。バッテリーに組み込まれている保護装置が壊れると、発熱、発煙、破裂、発火する原因となります。
6. 高温環境下や炎天下などで充電はしないでください。高温になると危険を防止するための保護装置が働き充電できなくなる場合や、保護装置が壊れて異常な電流や電圧で充電され、バッテリー内部で異常な化学反応が起こり、発熱、破裂、発火する原因となります。
7. バッテリーの充電には、当社指定の充電器を使用してください。それ以外の充電器で充電しますと、バッテリーが過度に充電されたり、異常な電流で充電され、バッテリー内部で異常な化学反応が起こり、発熱、発煙、破裂、発火する原因となります。
8. 針を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。バッテリーが破損、変形し、内部でショート状態となり、発熱、破裂、発火する原因となります。

	9. 強い衝撃を与えたり、投げつけないでください。バッテリーに組み込まれている保護装置が壊れると、異常な電流や電圧でバッテリーが充電され、バッテリー内部で異常な化学反応が起こり、発熱、破裂、発火する原因となります。 10. 直接ハンダ付けしないでください。熱により、絶縁物が溶け、安全機構を損傷して、発熱、発煙、破裂、発火する原因となります。 11. 電子レンジや高压容器に入れたりしないでください。急に加熱されたり、密閉状態が壊れ、発熱、発煙、破壊、発火の原因となります。 12. バッテリーは指定の機器以外の用途に使用しないでください。バッテリーの性能や寿命が低下し、機器によっては異常な電流が流れバッテリーが破損したり、発熱、破裂、発火する原因となります。 13. 直射日光の強いところや炎天下の車内などの高温の場所で使用しないでください。また、放置しないでください。バッテリーの性能や寿命を低下させることがあります。
	14. バッテリーには、プラス・マイナスの向きが決められています。うまくつながらない場合は、プラス・マイナスの向きを確かめてください。逆につなぐとバッテリーが逆に充電され、内部で異常な化学反応が起こり、発熱、破裂、発火する原因となります。 15. バッテリーが漏液して液が目に入ったときは、こすらずにすぐに水道水などのきれいな水で十分に洗った後、ただちに医師の治療を受けてください。放置すると目に障害を与える原因となります。 16. バッテリーの充電温度範囲は 0～40℃です。この温度範囲外での充電は、バッテリーを漏液、発熱、破損させる原因になります。また、バッテリーの性能や寿命を低下させることがあります。 17. 満充電のバッテリーを再充電しないでください。バッテリーが高温になったり、寿命を低下させる原因となります。 18. バッテリーが不要になったときは、法令の定める基準に従って処分してください。詳しくは弊社サービス部門にご相談ください。

 注意	
	<AC アダプタ・コード類の取扱について> 1. 融着機から給電する場合には、オプション（別売）の専用 DC コード（型番：PC-B(C)）を使用してください。専用品以外を使用すると、動作不良や故障の原因となります。 2. 長期間、本製品をご使用にならない場合は、安全のため必ず AC アダプタをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。 3. AC アダプタをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らずプラグを持って抜いてください。コードを引っ張ると、コードの末端が劣化することがあります。 4. 濡れた手で電源コードの抜き差しやバッテリーの着脱を実施しないでください。感電の恐れがあります。
	<保管について> 1. 湿気やほこりの多い場所での保管をしないでください。火災、感電、故障の原因になることがあります。
	<ご使用・メンテナンスについて> 1. 被覆除去後のファイバ層は、安全のため手で取り除かず、ブラシ等で刃の周辺の清掃をしてください。 2. 被覆除去後のファイバは危険ですので、取扱には十分ご注意ください。 3. 刃は消耗品です。新品交換時は、弊社指定のものをご使用ください。交換は必ず上下セットで行ってください。適切に取り付けを行わないと、本製品の性能が十分に発揮されない場合があります（10.メンテナンスを参照）。 4. 高所から落下は破損の原因になりますのでご注意ください。 5. 刃の交換の際は、刃の先端が鋭利ですので直接触れないでください。
	<バッテリーユニット取扱について> 1. 濡れた手でバッテリーを抜かないでください。火災、感電、故障の原因となります。 2. 充電は適切な環境（0～40℃）で行ってください。バッテリーを寒い屋外や冷えたまま（0℃以下）で充電すると、バッテリー液が漏れ、バッテリーの寿命を低下させる原因になります。 3. 一カ月以上使用しない場合は、バッテリーを取り外してください。バッテリーを付けたままにしておくと電源 OFF していても微小電流が流れ、過放電となり、バッテリーの寿命を低下させる原因となります。

目次

安全にお使いいただくために

1. はじめに	1
2. 製品概要	1
製品仕様	1
標準構成品 / オプション	1
3. 構造	2
4. 電源の準備	3
バッテリー駆動	3
バッテリー残量の確認方法	3
BU-6A バッテリーの充電方法	3
バッテリーの交換方法	3
AC 駆動	4
住友製融着機から DC12V 供給	4
5. 操作方法	4
6. 温度設定	6
7. ヒータモードの切り替え	6
8. オートパワーオフ機能	7
9. 設定記憶機能	7
10. メンテナンス	7
日常清掃	7
刃の交換	8
トラブルシューティング	9
11. バッテリーの保管方法	10

1. はじめに

このたびは「JR-7S ホットジャケットリムーバ」をご購入いただき、誠にありがとうございます。

本製品は 250 μ m および 900 μ m の単心ファイバの被覆除去を行うための加熱式リムーバで、業界初の「JIS C 0920 の防滴 I 型 IPX2」に対応した設計により、日常レベルの防滴性能、小型・軽量、スムーズな被覆除去性を実現しています。

ご使用前に本取扱説明書を十分にお読みいただき、本製品の性能をご理解ください。本書はお読みになった後も、本製品の手元においてお使いください。

本製品 JIS C 0920 の防滴 I 型 IPX2(防滴保護等級 2: 落下する水滴が有害な影響を及ぼさない)に準拠した設計です。

ただし、事故や故障が完全に防げることを保証するものではありません。
あらかじめご了承ください。

防滴設計



2. 製品概要

製品仕様

適用光ファイバ	
ファイバ材質	石英系ガラス
被覆材質	UV 硬化型樹脂
ファイバ心数	単心
ファイバ被覆径	ϕ 250 μ m, ϕ 900 μ m
クラッド径	125 μ m
被覆除去長	最大 35mm

仕様	
加熱温度設定	約 80℃～140℃の4段階切り替え
省電力機能	ノーマルモード
	パワーセーブモード
バッテリー残量表示	4段階のLED表示 (インジケータあり)
電源供給方式	1) バッテリー駆動 公称容量 1940mAh 専用バッテリー BU-6A を使用
	2) 住友製融着接続機から DC12V 供給 入力電圧 DC9～15V 出力電圧 DC9～15V 専用 DC コード PC-B(C)(オプション) を使用
	3) AC 駆動 AC90～264V、50/60Hz、 AC アダプタ ADC-1220S を使用

バッテリー駆動時間 (除去可能回数の目安)*1	100℃設定時: 約 10 時間 (約 600 サイクル)
外形寸法	46(W) x 128(D) x 37.5(H) mm
質量	約 200g(バッテリー含む)
環境条件	使用環境温度: -10℃～+50℃ *2 保管環境温度: -40℃～+80℃ (バッテリーを除く) 湿度: 95% RH 以下 (結露なきこと) 防滴性能: IPX2 相当 *3

*1: 100%充電した新品のバッテリーを使用し、室温環境約 25℃、パワーセーブモードで 1 分ごとに除去した場合の目安。使用環境により、駆動時間、除去回数は異なります。

*2: バッテリーの充電は指定温度範囲内で行ってください

*3: IPX2 は「垂直に落下した水滴が製品に有害な影響を与えない」と定義された防滴性能です。

※仕様および外観は、改良のため予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

標準構成 / オプション

<標準構成>

品名	品番	数量
ホットジャケットリムーバ *1	JR-7S	1 台
バッテリー *2	BU-6A	1 個
AC アダプタ	ADC-1220S	1 台
AC アダプタ用 AC コード	PC-AC4-2P	1 本
注意事項カード *1	ETK2326053	1 部
キャリングケース *1	-	1 個
ストラップ *1	-	1 個

*1 一部部品は単品販売していません

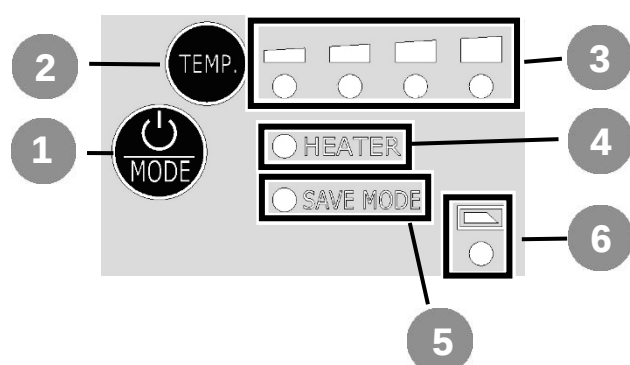
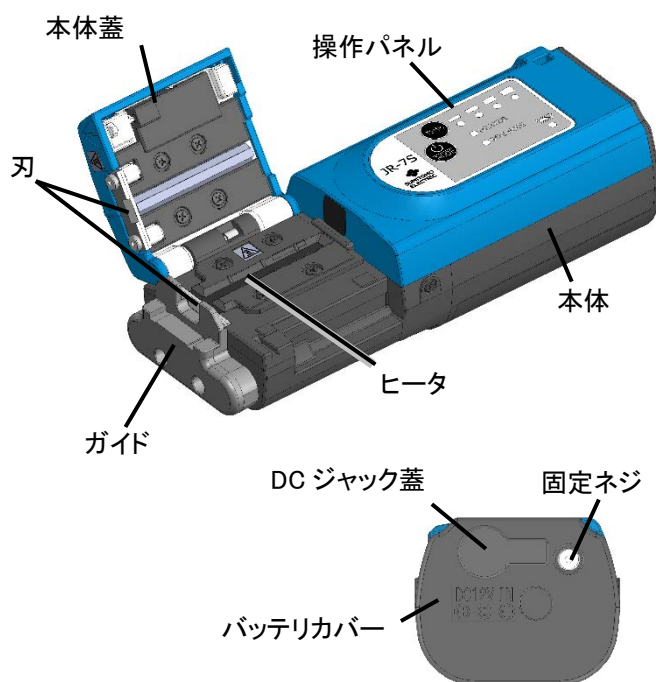
*2 バッテリーは出荷時本体に装着済み

<オプション>

品名	品番	数量	備考
替え刃 *1	JR-6BL	1 対	上下各 1 枚
バッテリー	BU-6A	1 個	
AC アダプタ	ADC-1220S	1 個	電源コード付属
DC コード	PC-B[C]	1 個	融着接続機からの電源供給用

*1 替え刃は必ず専用の「JR-6BL」をご使用ください。「JR-6+BL/JR-7BL」をご使用の場合、本品の製品仕様を満足する性能を得られません

3. 構造



1 電源 ON/OFF/ヒータモード切り替えスイッチ

電源 ON/OFF、電源 ON 時はヒータモード切り替えに使用します



2 ヒータ温度切り替えスイッチ

ヒータの温度を切り替える時に使用します



3 設定温度 LED

ヒータの温度を表示します



4 ヒータ温度 LED

ヒータの加熱状態を表示します



5 セーブモード LED

省電力モード使用時に点灯します



6 バッテリ充電状態表示 LED

バッテリ充電状態を表示します



4. 電源の準備

JR-7S への電源供給には、以下の 3 通りがあります。

1. バッテリー駆動
2. AC 駆動
3. 住友製融着接続機から DC12V 供給

バッテリー駆動

初めてご使用の場合、バッテリーを充電してからお使いください。
(出荷時はバッテリー残量 30%未満となりますので、入荷後、充電をしてください。)

バッテリー BU-6A は、リチウムイオンバッテリーです。残容量を使い切らなくとも継ぎ足し充電が可能です。JR-7S はお買い上げ時、本体内部にバッテリーが装着されています。

バッテリー残量の確認方法

バッテリー充電状態表示 LED (6) が残量を 4 段階で表示します。

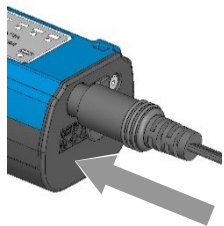
LED 表示	残量割合(%)
●(緑)	30%以上
●(橙)	20% ~ 30%
●(赤)	10% ~ 20%
●(赤点滅)	10%以下

動作中にバッテリー残量が 10%以下になると、充電状態表示 LED が赤点滅して警告を表示します。

* LED 表示は目安としてご利用ください。

BU-6A バッテリーの充電方法

バッテリー BU-6A は JR-7S 本体に装着したまま充電が可能です。



1. BU-6A を JR-7S に装着してください(出荷時、装着済)。
2. JR-7S に AC アダプタ ADC-1220S を接続し、コンセントにつなぎます。

3. 充電が開始されるとバッテリー充電状態表示 LED が緑色に点滅します。
4. 充電時間はバッテリー残量によって異なりますが、約 2 時間で完了します。バッテリー充電状態表示 LED が緑色に点灯します。

LED の状態	表示の意味
緑点灯	充電完了
緑点滅	充電中
緑/赤交互点灯	本体またはバッテリーの異常

※異常が生じた場合は速やかにサービス部門にお問合せください。



警告

バッテリーの充電は 0℃～40℃の環境で実施してください。この温度範囲外で充電した場合は、バッテリーの寿命を低下させると共に、漏液、発熱、破損、発火の原因となる恐れがあります。

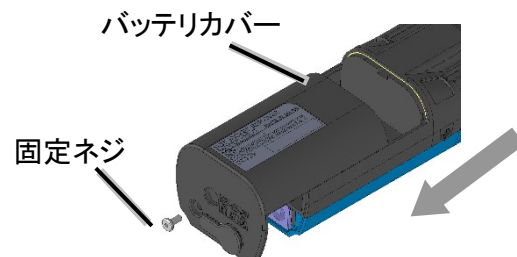


注意

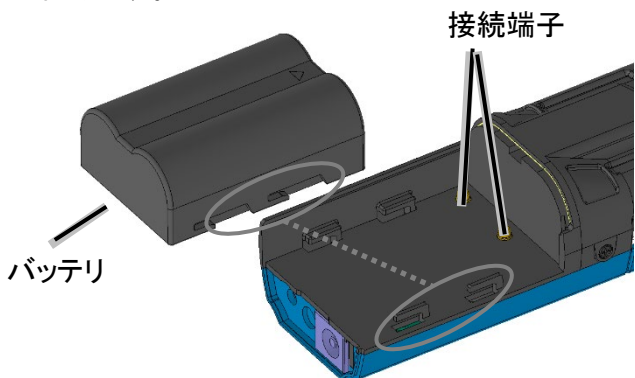
充電の際は、必ず JR-7S 本体と AC アダプタ ADC-1220S(または住友製融着機)をご使用ください。それ以外の方法では感電、出火の恐れがあります。

バッテリーの交換方法

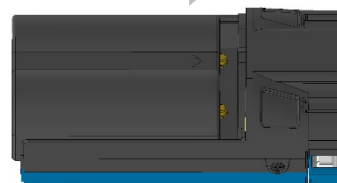
1. 六角レンチ(1.3mm)で固定ネジを外し、バッテリーカバーを外してください。



2. 新しいバッテリーを下図のように正しい向きで取り付けます。

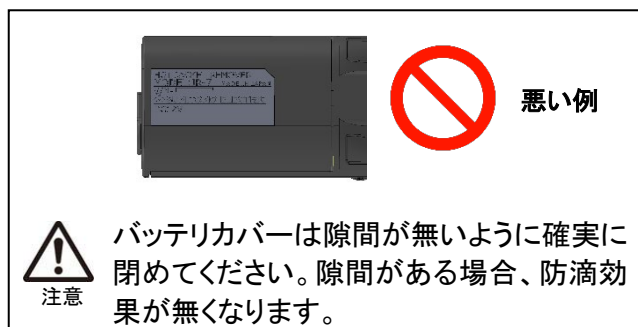
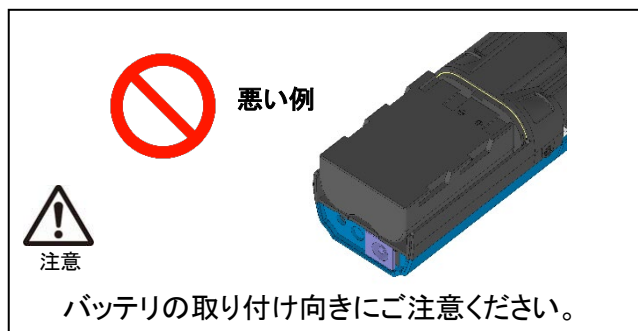


丸で囲んだ部分同士をかみ合わせてから、バッテリーをスライドさせてください。

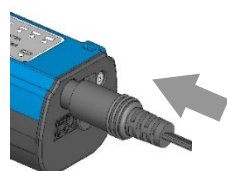


3. バッテリーカバーを取り付けてください。六角レンチ(1.3mm)で固定ネジを締めてください。
(目標締め付けトルク: 約 10cNm)





AC 駆動

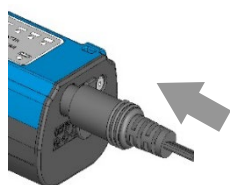


AC アダプタ ADC-1220S を JR-7S の DC ジャックにつなぎ、AC アダプタをコンセントに接続します。

ポイント

バッテリー装着状態で AC アダプタを接続し電源 ON すると、AC 駆動が優先されバッテリーは使われません。

住友製融着機から DC12V 供給



1. DC コード(型番:PC-B(C)) を JR-7S の DC にジャックに接続します。
2. もう一方のプラグを融着機のリムーバ用 DC 出力端子に接続します。

※本機能は DC 出力端子のある住友製融着機のみ対応します。詳しくはご使用の住友製融着機の取扱説明書をご確認ください。

5. 操作方法



1. 電源 ON/OFF スイッチ (1) を1秒以上押してください。ヒータ温度 LED が点灯します。



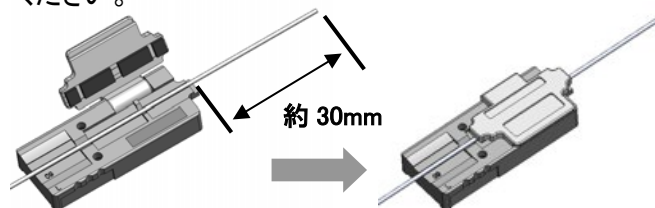
2. JR-7S が設定温度に達するとヒータ温度 LED (4) が赤から緑に変わります。

ポイント

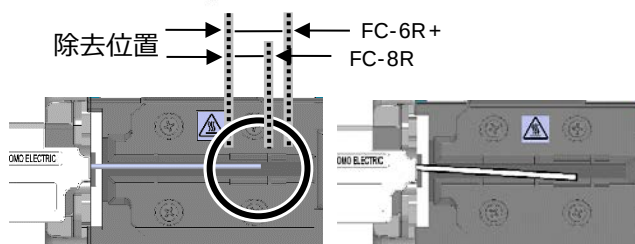
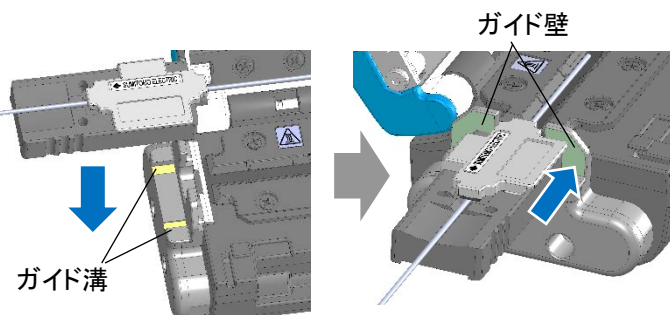
ご使用のファイバ、環境により最適な加熱温度は異なります。ご使用の際にご確認頂き、最適な加熱温度でご使用ください。(「6.温度設定の変更」を参照)



3. 光ファイバをファイバホルダにセットしてください。※ファイバはファイバホルダ先端から約 30mm 出してください。



4. ファイバホルダをガイド溝に沿わせてガイド壁に押し付け、ヒータからはみ出さないようホルダ台にセットしてください。



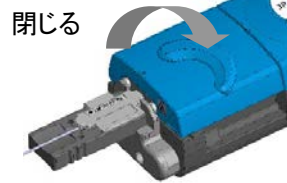
良いセット状態

悪いセット状態

ポイント

住友製光ファイバカッタをご使用の場合には、被覆先端の位置が「除去位置」の範囲にあることを確認してください。

5. ファイバホルダ蓋と本体蓋を閉めます。ヒータ温度 LED (4) が緑に点滅(約 3 秒)、その後点灯に変わります。



閉じる



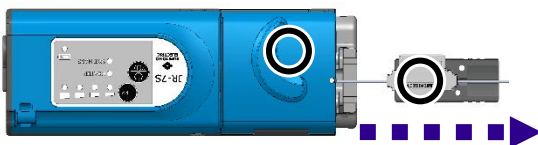
LED 緑点滅 約 3 秒



LED 緑 点灯

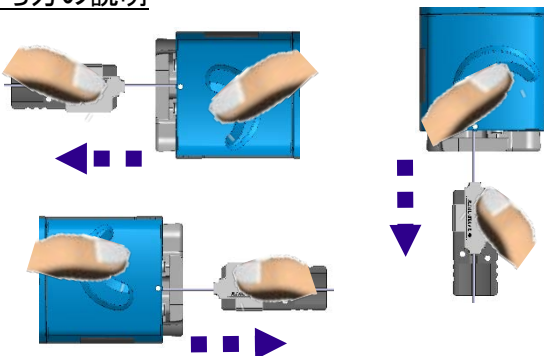
6. ヒータ温度 LED (4) が緑に点灯していることを確認後、本体蓋の「PUSH 位置」をしっかりと押さえます。ファイバホルダと本体を水平に保ったまま、ファイバホルダを矢印の方向に真っすぐにゆっくり引いてください。

PUSH 位置



ポイント PUSH 位置をしっかりと押さえる

持ち方の説明

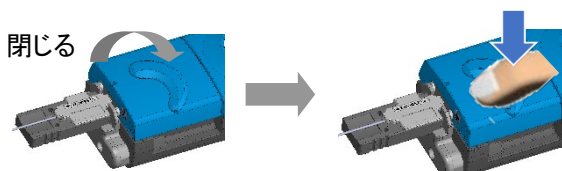


※凸部に指を引っかけて指を固定します。

ポイント

ポイント 1 - LED 点滅中の本体蓋の押さえ

ファイバに十分に熱を伝えるため、本体蓋を閉じた後、ヒータ温度 LED が点滅したらすぐに、本体蓋の「PUSH 部」を真っすぐにしっかりと押さえてください。



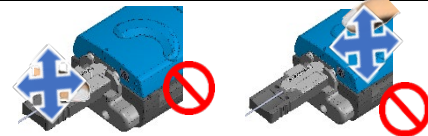
閉じる

PUSH 部を押さえる際は真下方向に力を入れるように押さえてください。
ホルダ側や操作パネル側へ力を掛けないように注意してください。

- ・PUSH 部をしっかりと押さえていることを確認してください。
- ・ファイバを刃に押し付けしないでください。必ずヒータの上に平らに置いてください。

本体の蓋を閉じて押さえる際に、本体やファイバホルダを動かさないでください。動かすとファイバ断線の原因になります。

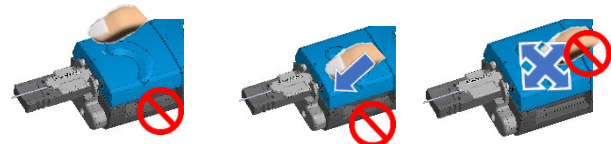
<ファイバ/ファイバホルダ/本体を動かさないこと>



<PUSH 部を押さえていない>

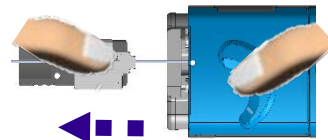
<斜め方向へ押さえている>

<蓋を動かす>



ポイント 2 - スライドの動かし方

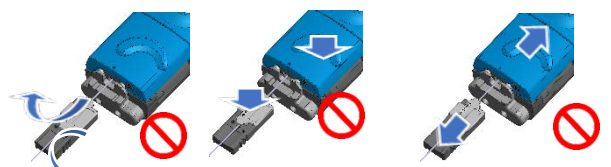
ヒータ温度 LED 点灯確認後、本体蓋及びファイバホルダ蓋をしっかりと押さえたまま、本体側を動かさないように固定し、ホルダ側を真っすぐ水平にゆっくりスライドさせてください。



- ・ファイバホルダと本体を水平に保持したまま、ファイバホルダをゆっくり引いてください。
- ・ファイバホルダをスライドさせるときに、上下や左右に動かさないでください。ファイバ断線の原因になります。
- ・ファイバホルダをスライドさせる際は、ファイバがずれないように必ずファイバホルダの蓋をしっかりと持ってください。
- ・ファイバホルダをスライドさせるときは、本体の蓋も引き続きしっかりと押さえてください。
- ・ファイバホルダをスライドさせている間は、本体を動かさないでください。
- ・被覆を除去した後は、必ずスクリーニングテストを行い、ファイバが断線していないことを確認してください。

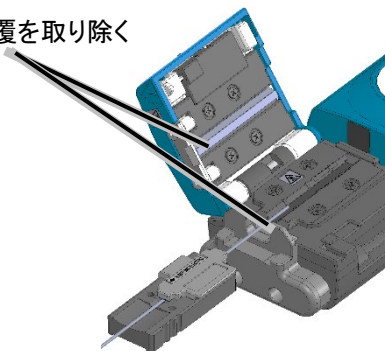
<斜めに動かしている>

<蓋がしっかり持たれていない>



7. 被覆除去が完了しました。ファイバホルダを取り出し、クリーニングブラシやピンセットを使って、除去した被覆を取り除いてください。

除去した被覆を取り除く



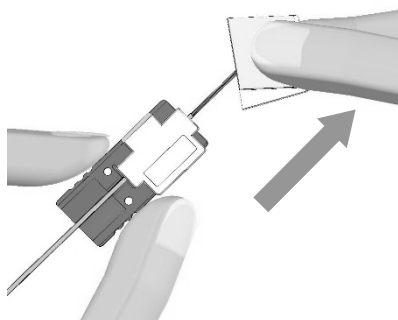
注意

除去した被覆は必ず取り出し、適切に処分してください。



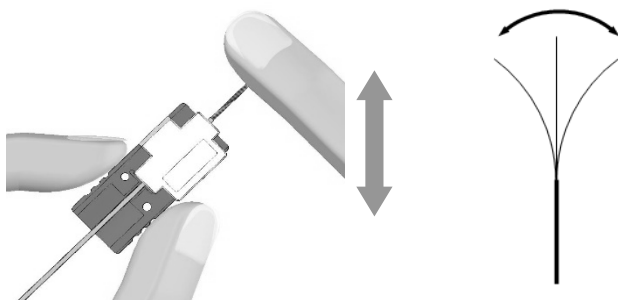
8. 電源 ON/OFF スイッチ (1) を操作パネルの LED が消灯するまで1秒以上、押してください。

9. 高純度 99%以上のエチルアルコールを浸したガーゼで矢印の方向にファイバを清掃してください。



※一度使用したガーゼは再利用しないでください。

10. 光ファイバ先端を指ではじき、断線していないか確認してください。

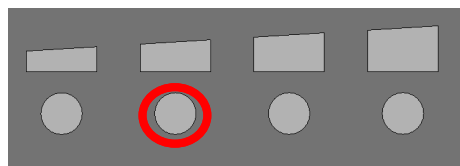


注意

ガラスファイバは非常に鋭利です。取り扱いには十分ご注意ください。

6. 温度設定

温度設定の変更は (2) ヒータ温度切り替えスイッチで行います。電源投入時は標準で左から 2 番目に設定されています。



基本的には、左から 2 番目の設定がおすすめです。

- ・被覆が残る場合は温度を上げてください
- ・除去した被覆が破片状になる場合は温度を下げてください

7. ヒータモードの切り替え

ヒータモードの切り替えは、電源 ON/OFF/ヒータモード切り替えスイッチ (1) で行います。このスイッチを短く(1 秒以内)押すことで、ノーマルモードとパワーセーブモードの切り替えが可能です。

通常はノーマルモードでご使用ください。

※電源 ON/OFF/ヒータモード切り替えスイッチ (1) を 1 秒以上押すと電源 OFF になります。

1. ノーマルモード

待機時間なく、連続使用が可能です。

2. パワーセーブモード

バッテリー持続時間を延ばす省電力動作モードです。蓋を開ける加熱を切ります。またヒータ温度 LED (4) が赤色⇒緑色に点灯後、約 20 秒間、蓋の開閉を行わなかった場合も加熱を切ります。本体蓋を開閉することで、設定温度への加熱を再開します。

8. オートパワーオフ機能

約 5 分間本体蓋を開閉しないまたは操作しない場合、自動的にヒータの電源が切れます。

約 15 分間本体蓋を開閉しないまたは操作しない場合、自動的に本体の電源が切れます。

9. 設定記憶機能

JR-7S は、電源を切っても以下の機能に関しては最後に使用した設定が記憶されています。

項目	設定
1	ヒータ温度設定
2	ノーマル/セーブモード

10. メンテナンス

日常清掃

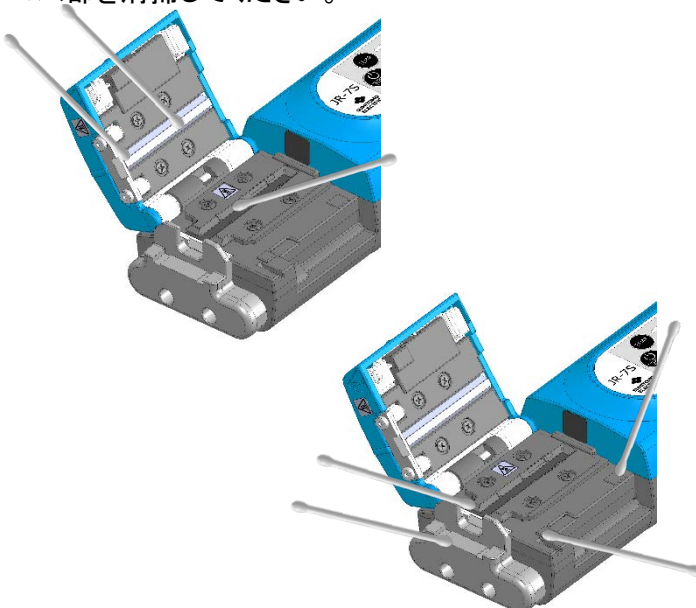
本製品の性能を維持する為に、ご使用前後には必ず次の清掃を行ってください。

本製品を清掃する前に以下の条件を満たしていることを確認してください。

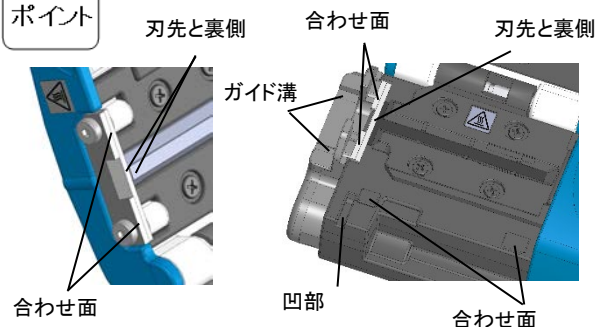
1. 電源が OFF であること
2. ヒータが冷えていること
(電源を切ってから 5 分間以上お待ちください。)

清掃方法：

高純度 99%以上のエチルアルコールを浸した綿棒で、刃、合わせ面、凹部、ガイド溝、ヒータプレート、ゴム部を清掃してください。



ポイント



「上下の刃の合わせ面」、「ガイド溝」、「凹部」、「刃先と裏側」などの被覆層はしっかり取り除いてください。



注意

1. 刃、ヒータ、ガイド溝、ゴム部に被覆カス等のゴミが付着していると、除去性能を損なう原因になります。
2. 清掃には、高純度 99%以上のエチルアルコール以外の薬品を使用しないでください。純度が低いと刃が錆びたり、ゴムの劣化がおこりやすくなります。

刃の交換

弊社保守サービス部門での交換を推奨いたします。
刃は鋭利ですので、取扱には十分ご注意ください。

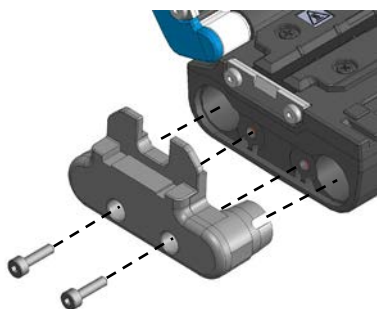
交換の際は、安全のため、JR-7S 本体が以下の状態であることを必ず確認してください。

1. 電源が OFF であること
2. バッテリーが抜いてあること
3. ヒータが冷えていること
(電源を切ってから 5 分間以上お待ちください。)

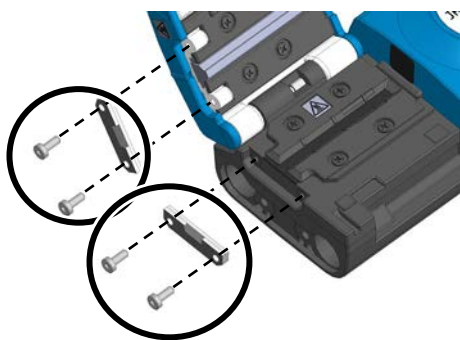


取り替えは上下セットで行ってください。上下の区別はありません。
専用交換刃 (JR-6BL) をご使用ください。
他タイプ (JR-6+BL/JR-7BL) は本品の製品仕様を満足する性能を得られません。

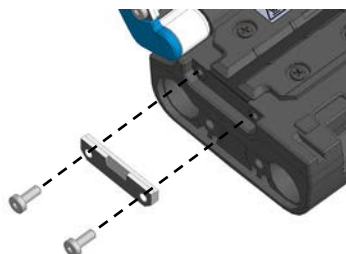
1. 六角レンチ (1.3 mm) で固定ネジを緩め、ガイドを外してください。



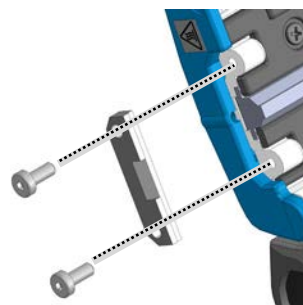
2. 六角レンチ (1.3 mm) で固定ネジを外し、上下の刃を取り外してください。



3. 下刃を新品と交換し、固定ネジで仮固定します。



4. 上刃を新品と交換し、固定ネジで仮固定します。



5. 上下の刃のネジを刃が前後に動く程度に緩めます。

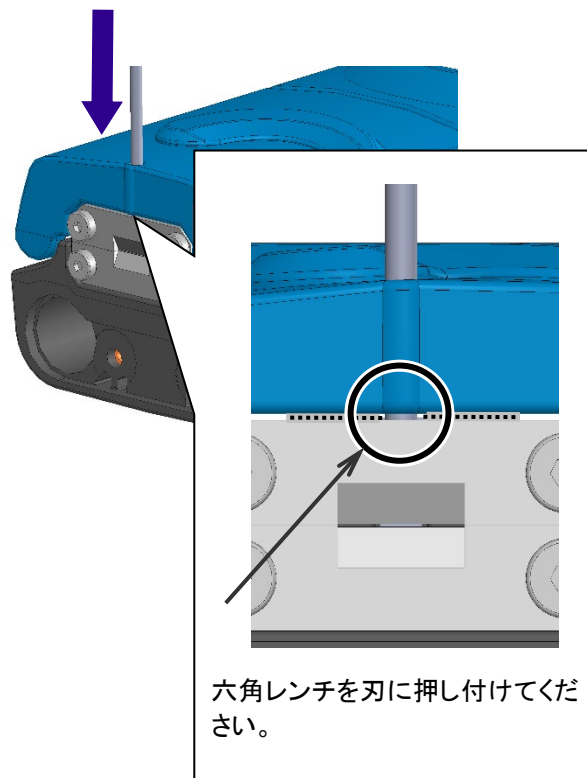
ポイント

上下の刃が動くことを確認してください

6. 刃の位置調整

本体蓋を閉じ、中央部の穴に六角レンチ (1.3mm) を入れ、上刃を下方向に押さえながら固定ネジを締めて上刃と下刃の溝が合うように揃えてください。

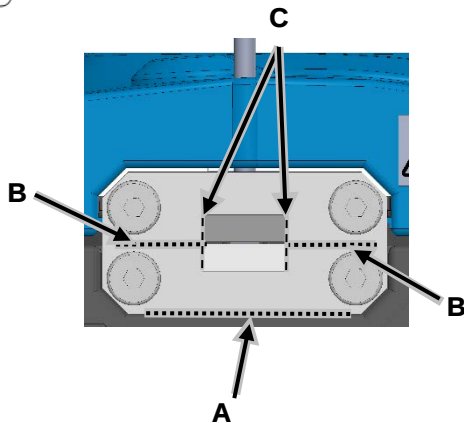
(目標締め付けトルク: 17.6cNm)



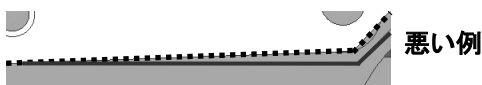
ポイント

左右の固定ネジを、締め付けが均等になるように、交互に閉めてください。

ポイント



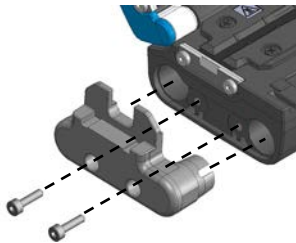
A: 下刃と本体の間に隙間がないことを確認してください



B: 上刃と下刃の間に隙間がないことを確認してください

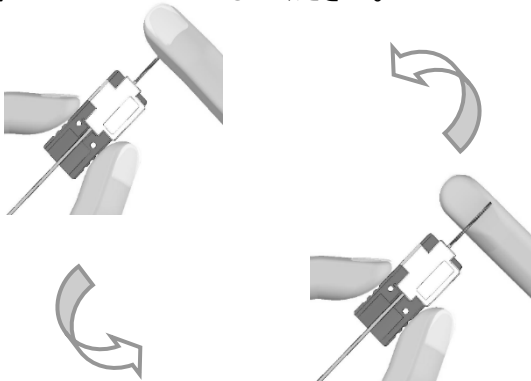
C: 上下の刃のラインが揃っていることを確認してください

7. ガイドを取り付け、固定ネジを締めてください。



「5.操作方法」1～10 の操作をし、刃の交換が正しく行われたか確認してください。

8. 刃の交換後、被覆のテスト除去を数回行ってください。下図のように、ファイバを指で軽く上下させ、断線の無いことを確認してください。



注意

光ファイバの先端が指に刺さらないようにご注意ください。

トラブルシューティング

良好

不良

光ファイバの断線

被覆際の不揃い

被覆除去出来ない

除去不良は次のような原因で起こる可能性があります。

(A) 清掃が不十分

刃、ヒータ、ゴム部に被覆カス等のゴミが残っていると良好な被覆除去が行えない場合があります。

10.メンテナンス、日常清掃を参照してください。

(B) 刃が被覆に当たっていない

-1. 刃が正しく取り付けられていません。刃が JR-7S に正しく装着されているか確認してください。

10.メンテナンス、刃の交換を参照してください。

-2. 刃が摩耗している可能性があります。

適切に刃の位置を調整しても除去不良が生じる場合は、刃が摩耗している可能性があります。

10.メンテナンス、刃の交換を参照してください。

保守サービス部門へお問合せください。

-3. 本体蓋のPUSH部を十分に押せていない可能性があります。被覆除去時にPUSH部を十分に押さえてください。

5.操作方法を参照してください。

(C) 被覆除去がしにくい、被覆が崩れる

被覆材の成分や周囲環境温度によっては、ヒータの温度設定を変更する必要があります。一般的には、周囲環境温度が低い場合には、ヒータの設定温度を上げることで除去しやすくなります。

6.温度設定の変更を参照してください。

- (D) ファイバホルダが水平スライドされていない、もしくは本体蓋を閉じたあと、ファイバホルダを動かしている。

ファイバホルダと本体を水平に保持したまま、ファイバホルダをゆっくりと引いてください。その際に、ファイバホルダを上下や左右に動かさないでください。ファイバが断線する原因になります。

5.操作方法を参照してください。

11. バッテリーの保管方法

本製品を一カ月以上使用しない場合、以下のことを行ってください。

1. バッテリーを JR-7S 本体から外してください。
(4.電源の準備を参照してください。)
2. バッテリーを保管する環境は、温度 20℃程度の涼しいところに置いてください。
3. 半年に 1 度、20 分程度の補充電を行ってください。
(4.電源の準備 バッテリーの充電方法を参照してください。)

初版: 2026.06.04

■ 融着接続機お客様サービスセンター

住友電工オプティフロンティア株式会社

湘南工場 お客様サービスセンター メンテナンス担当

〒253-0087 神奈川県茅ヶ崎市下町屋1-5-1

フリーダイヤル : 0120-853-723 e-mail : u-mainte-east@info.sei.co.jp



<https://global-sei.com/sumitomo-electric-splicers/jp/support/>
